

日本留学ネット

Japan Alumni Global Network

ニュースレター

2023年2月号

2023年2月24日発行



2022年 日本で話題になった ニュースを振り返り

北京オリンピックで過去最多の18個のメダル

2022年2月に行われた北京オリンピックでは、これまで最多だった前回の平昌オリンピックの獲得メダル数13個を上回り、冬のオリンピックで過去最多の獲得メダル数を更新しました。次回のオリンピックは2026年にイタリアのミラノ、コルティナダンペッツォで開催されます。



西九州新幹線が開通 全国から注目集める



2022年9月23日に西九州新幹線が開業しました。西九州新幹線は佐賀県の武雄温泉から長崎駅の66キロを結ぶ新幹線です。これにより、博多駅と長崎駅の間は所要時間が最短の1時間20分と、今までの所要時間よりも30分短縮されました。開業日は自治体出身の著名人らが参加して記念式典が行われ、開業を祝いました。

個人旅行者を入国解禁し、本格的にインバウンド復活へ

2022年10月11日より訪日外国人観光客の受け入れが再開しました。入国制限の撤廃により、街中でも訪日旅行観光客の姿が見られるようになりました。政府は新型コロナウイルスの影響により落ち込んだインバウンド消費を回復させるため、大阪・関西万博が開催される2025年までに集中的な取り組みを行う方針を決定しました。



現役留学生の活躍をご紹介します！

留学を経て大学でどのような研究を行っているのか、
現留学生の活躍をご紹介します！



- プロフィール
- ・ 名前：タズビール・アーメド
- ・ 国籍：バングラデシュ
- ・ 大学：東京大学大学院医学系研究科外科学専攻
眼科学 博士課程在学中

日本で行っている研究内容

網膜炎症性疾患（またはぶどう膜炎）は、網膜の機能障害を引き起こし、最悪の場合、事実上視力を失う原因となる目の病気です。私は研究を通して、ぶどう膜炎やその他の自己免疫疾患に対して、既存の治療法と同等以上の有効性と高い安全性を持つ、新しい治療法を開発したいと考えています。

研究内容を簡単にご紹介

私の研究の主な目的は、動物モデルの網膜損傷時の脂質シグナルの特徴を明らかにすることと、網膜炎症の治療における強力な生物活性脂質受容体の役割を特定することでした。

新しい薬剤の処方を見出すことは、私たちのトランスレーショナルリサーチのこの理解に大きく影響されます。内皮障害反応における標的受容体の機能は、血管炎症および網膜変性疾患の治療標的として使用できる可能性を提起しています。

研究内容や職場環境について

革新的なビジョン研究に欠かせない基礎的な研究手法や顕微鏡を使って行なう微細な手術の手順を学びながら、動物モデルの管理やベンチワークで多くの実践的な専門知識を身につけることができました。東京大学の研究室の素晴らしい職場環境は、創造的思考と問題解決能力を育むのに重要です。教授や同僚からの心のこもったサポートに感謝しています。

大学院での研究では、目の研究について話すためにいくつかの国際会議に出席し、科学的なコミュニケーションに対する自信を深めることができました。ノーベル賞受賞者のエリザベス・ヘレン・ブラックバーン氏（2009年、生理学・医学部門）にお会いしてお話したことは、私にとって最も忘れがたい学術的経験の1つです。

先輩の失敗談から学ぶ！ 日本での就活で気を付けるべきこととは？

日本で就職を検討している元留学生・現役留学生にとって日本独特の就職活動に困ることも多いことでしょう。そこで、日本での就職を経験した先輩に就職活動での失敗談を伺ってみました！ぜひ皆さんの就職活動の参考にしてみてくださいね！



■ プロフィール

- ・ 名前：ボナヴィタ・エマニュエルさん
- ・ 学位：法政大学 政治学研究科政治学専攻（修士課程）
（ただし、就職活動を行ったのは2005年、東京外国語大学に1年間留学プログラムの時。）
- ・ 在学時期：2007年～2009年
- ・ 国籍：フランス

就職活動の背景として、時期が分かれています。まず、学士号を取得した後、日本語・日本文化研修留学生という1年間のプログラムを受けており、その時に就職活動を開始しました。仕事に就いてから転職活動を行いましたが、結局一旦帰国し、母国で転職しました。6年ほど海外で過ごした後、日本に戻り個人事業主になりました。

日本での就職活動における失敗談はありますか？

当時、日本人の学生は現在より就職活動を早めに始める傾向があったのですが、私が就職活動を行ったのは2004年～2005年という2回目の留学の時でした。2004年10月に来日し、2005年3月に就職活動を始めており、8月に留学が終了する予定だったわけですが、筆記試験から内定まで時間がかかり、開始するのが遅すぎたことを実感しています。というのも、筆記試験は適性検査「SPI」があるにもかかわらず、その対策に割く時間が十分に取れなかったのです。

就職活動中、日本人からもらったアドバイスとして、SPI対策はある程度できるくらい勉強するのが良いのですが、面接をおざなりにしてはならないと言われました。

また、面接では、まじめに答える一方、最後に面接官にインパクトのある一言を準備することは大事だと言ってくれました。具体的には少し機知に富んだり、笑いを誘ったりする一言です。もっとも、何より受ける企業の背景や事業を前もってきちんと調べるのを怠らないのもポイントです。

また企業や仕事内容によって資格を取得することも役に立つとも言われました。

失敗に対してどのように対策しましたか？

SPIは1～2年の滞在で学ぶものではなく、日本教育を長く受けた者が感覚として身に付けている部分も大きいので、筆記試験あるいは面接のみ、独特さが控えめなSPIを実施している会社を調べ、そこに就職しました。

そして、仕事しながら転職活動の一環で資格の勉強を続けていました。

日本での就職活動を控えている皆さんへひとつ

就職活動はこれぞという正解がないのですが、今は昔と比べて即戦力がより求められているように感じています。そのため、留学中、実務の色が濃い資格を取るのをお勧めします。

また、OB・OG訪問という、就職した企業に務めている同大学の卒業生に相談する仕組みが昔からあります。コロナ禍でOB・OGとの相談はオンラインが増えましたので、その場にいなくても相談できることが多くなりました。企業の内部情報や現場について少し見当が付くことになるのでとても有意義です。

帰国留学生会のご紹介

各地域で帰国留学生会として活動している団体をいくつかご紹介します。気になる団体があれば、ぜひ問い合わせや参加等してみてくださいね！

■ブルネイ元日本留学生会（略称：BAJA）（ブルネイ）

ブルネイ元日本留学生会、通称BAJAは、日本に留学したことのあるブルネイ人が集う会です。BAJAのメンバーは、ブルネイ・ダルサラーム国の国民で、6ヶ月以上日本に留学したことのある人たちです。2022年現在、BAJAの会員は50名で、さまざまな経歴を持つ人が集まっています。

BAJAの目的は、日本に留学したブルネイ人元留学生の結束を図ること、つまり両国の文化交流を通して国の発展に参加することで会員の志や貢献を高めること、そして、あらゆる分野における知識を受け渡すことであり、そうすることで教育や技術における発展の成功ができることです。

私たちの活動は、以下のように分類されます。

[1] 在ブルネイ日本国大使館が主催する文化事業（BAJA会長が審査員長を務め、他の会員も参加する日本語スピーチコンテスト、日本語文化週間、日本文化フェスティバルなど）に、会員が実行委員会として、あるいは観客や支援者として参加する。

[2] 日本に留学する新入生に対し、BAJA会員の実体験に基づく留学生活、日本文化、社会適応に関する情報を提供し、留学を支援する。また、ASEAN Council Of Japan Alumni (ASCOJA)やAsia Japan Alumni (ASJA)が主催するシンポジウムなど、各地域のセミナーや会議に会員を派遣している。

[3] 日本大使館の全面的な協力のもと、「こどもの日」を記念した折り紙デモンストレーションなど、日本の祝日に関連した活動を実施する。

ウェブサイト



Instagram



2022 年は、以下のような活動を実施しました。

[1] おはよう、みんなと朝ごはん：会員とアソシエイトと一緒に朝の運動を楽しみ、その後に「テーマ別」の朝ごはんを持参して食べる。

[2] トーク：BAJA会員と特定のトピックを共有し、オープンでフレンドリーなディスカッションを促進するためのセッション。対面式とオンライン（ハイブリッド）で行われます。

[3] BAJAでは他にもいくつかの活動を計画しており、2023年の開催を楽しみにしています。



■ 独日文化交流育英会奨学生友の会（ドイツ）

独日文化交流育英会奨学生友の会 は、Studienwerkのフェローシッププログラム "Experience Japan!" の卒業生によって組織されたネットワークです。"Experience Japan" は、ドイツの学生や様々な分野の若い専門家に、日本を間近に体験し、その文化や人々についてより深く学ぶユニークな機会を提供するものです。これは4週間の教育旅行プログラムで、いくつかの有名な場所を徹底的に研究するツアーと、参加者の学歴または職歴に見合った日本の職場での2週間の実務経験を含んでいます。

同窓会ネットワークの目的は、参加者がドイツに帰国した後も、その火種を絶やさないようにすることです。私たちは、シュトゥディエンヴェルクの活動を支援し、日本関連のイベントを共催し、ドイツで日本を体験するさまざまな機会について会員に情報を提供することで、文化交流を促進し続けています。

ウェブサイト



Instagram



■ドイツ語圏日本学術振興会研究者同窓会（略称：JSPS-Club）（ドイツ）

JSPS-Clubは、現在様々な分野の研究者約500名が在籍し、内約60名は日本で研究に従事しています。会員はJSPSのみならず、他機関の奨学金をもって日本で研究に従事したドイツ語圏研究者も含まれます。したがって、JASSOの奨学金制度を利用して日本に滞在した研究者も入会することができます。

当同窓会は、独日学術交流に関心のある者を対象としたシンポジウムや、日本及びドイツ語圏で会員向けの定例会等を例年開催しています。また、JSPSボン研究連絡センターと共催でジュニアフォーラムを開催し、研究成果等を発表する機会を提供しています。

その他にも、JSPS事業経験者を対象としたBRIDGE Fellowshipプログラム申請にあたり会員を支援しています。また、日本とドイツ間の学術交流のための援助基金（FWADJ）設置や、会員が主催する学会等へ資金提供を行っています。当同窓会の表彰事業であるJACA賞は、受賞者に対して往復の航空券と滞在のための褒賞金を支給しています。

ウェブサイト



■ブラジル国サンパウロ州国費留学生OB会（略称：ABMON）（ブラジル）

ブラジル国サンパウロ州国費留学生OB会（ABMON）は、主に在サンパウロ日本国総領事館管内の文部科学省在外公館員を中心に構成されています。ABMONは1994年に設立され、現在、1956年以来日本に派遣されている千人以上のブラジル人職員が参加しています。

ABMONの主な目的は、文部科学省OBの奨学生としての経験や、その後のブラジル、日本、海外での職業・学問上のキャリアが社会に与える影響を広めることです。ABMONはまた、ブラジルの文部科学省OB間の交流の場や活動的な協力を促進し、ブラジルや世界の他の同窓会への橋渡しとなることも目指しています。

メールアドレス: secretaria.abmon@gmail.com

ウェブサイト



Linked in



Instagram



■ヨルダン・日本学術協会（略称：JJAS）（ヨルダン）

ヨルダン人への日本文化の紹介、日本の学者とヨルダンの学者との交流、ヨルダンの学術機関への文部科学省奨学金の広報、自然災害、政治問題（日本の新年号、首相訪問、アラブと日本の対話、文化イベントなど）など日本でのあらゆるイベント参加のための現地報道機関の活用。気候変動、ロボット、リモート・センシング、アニメーションなど特定のテーマでの日本とヨルダンの間の講演会の開催、ヨルダンでの日本文化を紹介するフェスティバル、ヨルダンでの日本映画週間など日本大使館の活動への参加とその促進、H. E. 大使・文化部門の後援のもとでの大使館の支援による文部科学省奨学金応募学生の選考、大使館の後援によるJJASメンバーのための年次集会の開催。また、ヨルダンの様々な大学の学長と大使との定期的な会合を持ち、それらの大学にJJASのメンバーが在籍の確認。日本人ボランティア（JICA）に対するアラブ文化紹介のための定期的な講義の開催。

最近では、JJASには約70名の卒業生がいます。
詳しい情報は以下のアドレスにご連絡ください。

メールアドレス：matouq3@yahoo.com

Facebook



その他、各地域の帰国留学生会は以下からご確認ください。

<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/network/list/>



Facebookページ

『日本留学ネット・Japan Alumni Global Network』

で皆さんの役に立つ情報を発信中！

JASSOでは Facebookページ「日本留学ネット・Japan Alumni Global Network」を2021年7月から立ち上げました。

このページでは、留学生や元留学生の皆さんに役立つ情報をお届けし、皆さんの交流の場になることをめざしています。

公式Facebook
『日本留学ネット・Japan Alumni Global Network』

今、このニュースレターをご覧になっているあなたも、日本にいた思い出や仲間に知って欲しい話題などを日本留学ネット・Japan Alumni Global Network で紹介してみませんか？



お名前とメールアドレスを記載の上、ぜひFacebookのダイレクトメッセージまたはメール (alumni-newsletter@jasso.go.jp) にてご連絡ください。

Facebookページに関するアンケート調査を実施

2022年7月にFacebookページ「日本留学ネット・Japan Alumni Global Network」に関するアンケート調査を行いました。

ご回答頂いた皆さん、ご協力ありがとうございました！

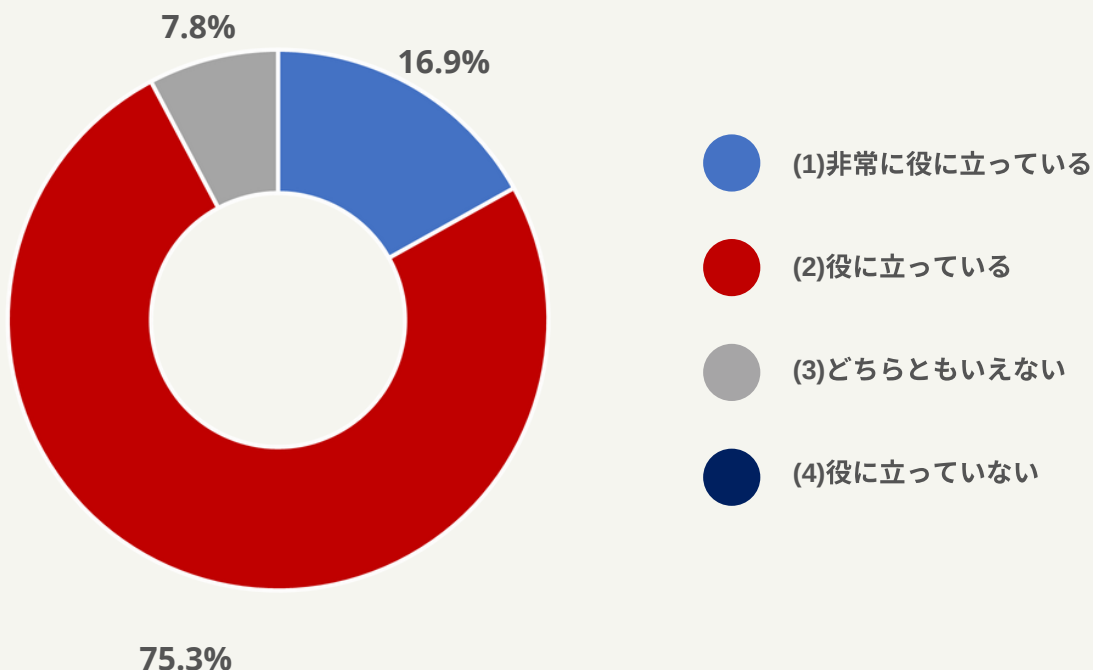
Facebookページ「日本留学ネット・Japan Alumni Global Network」では皆様のご意見を基により皆さんのお役に立てるような情報を発信してまいります。

<フォローしている方のご回答>

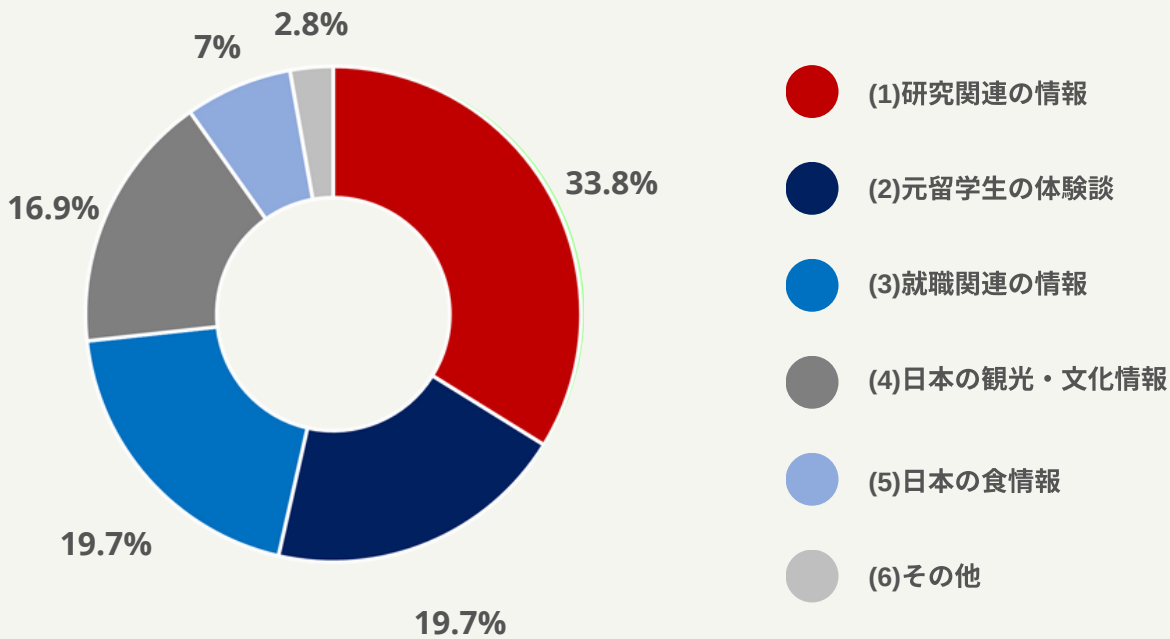
Facebookページをフォローした理由（複数回答可）



Facebookページの情報は役に立っていますか？

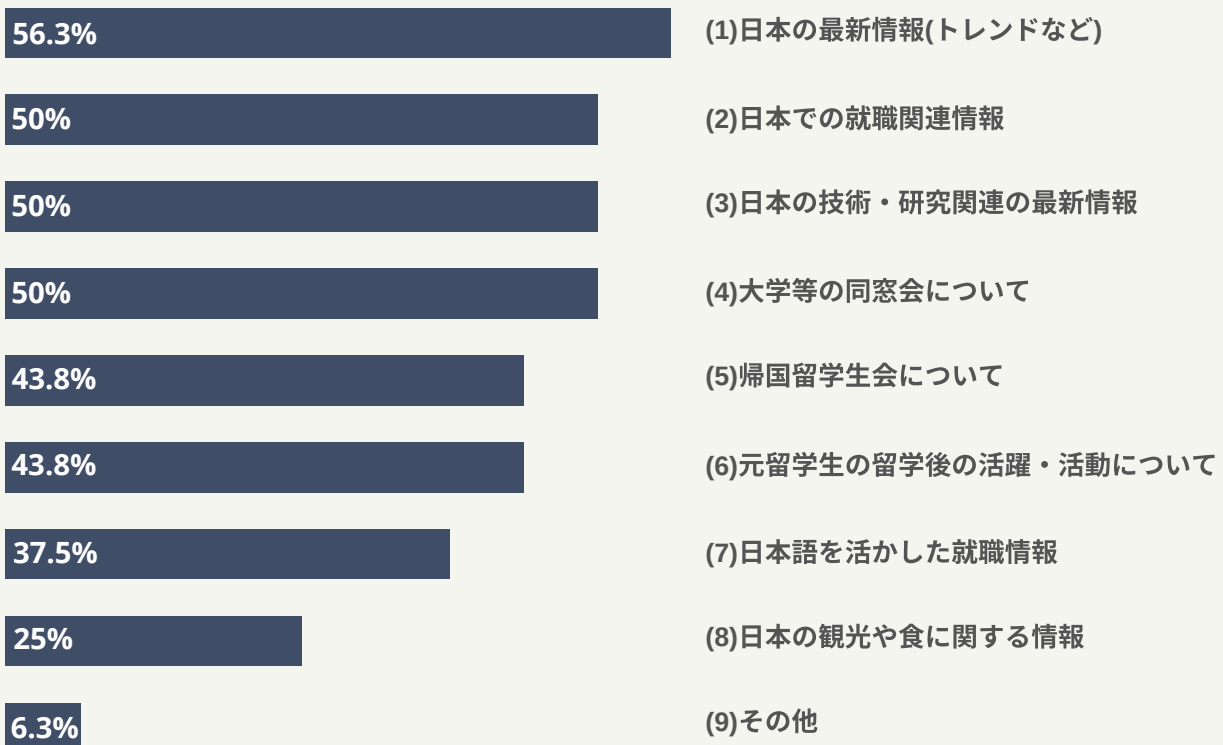


どんな情報が役に立っていますか？



<フォローしていない方のご回答>

どのような情報があればフォローしたいですか？
(複数回答可)



『外国人留学生のための就活ガイド』のご紹介

JASSOでは毎年、『外国人留学生のための就活ガイド』を発行しています。留学生が日本国内で就職活動を行うにあたり、日本独特の就職活動や採用スケジュールに戸惑われることもあるでしょう。留学生の就職は増加傾向にありますが、いつから準備が必要か？現場で求められる日本語の能力は？面接の対策は？など様々な疑問があると思います。

留学生の就職活動の現状を知り、何よりも日本企業の留学生採用ニーズを知っておくことは、就職活動に取り組む上で欠かせないことです。『外国人留学生のための就活ガイド』では、就職活動で留学生が直面する事柄について、詳しく、分かりやすく説明しています。

例えば、いつ・どんなことをするのか、業界・企業研究等の就活の準備や応募書類の作成、採用試験の準備、在留資格の変更、就活の体験談等まで取り上げていますので、この1冊で網羅的に就活に関連する情報をカバーすることができます。

『外国人留学生のための就活ガイド2024（日本語版）』の主な内容

- ・日本で就活（就職活動）を始める前に
- ・就活の準備
- ・エントリーから書類選考まで
- ・採用試験・内定から入社まで
- ・在留資格の変更
- ・就活体験談

『外国人留学生のための就活ガイド2024（日本語版）』は、下記URLにてPDF版をダウンロードできます。

（冊子版の送付は2023年2月末より開始予定）

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/job/guide.html

また、2024年版の英語版のPDF版は同URLにて2月末ごろからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

留学生の就職についてはこちらのページもご活用ください。

<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/job/employment/>

『外国人留学生のための就活ガイド2024』



日本で就職を希望している人は、まず自分が所属している大学（学校）のキャリアセンターや、国際交流センターにも相談してみましょう。

留学生、元留学生を対象とする支援事業のご紹介

JASSOでは帰国した留学生の支援も行っています。

今回は『帰国外国人留学生短期研究制度』についてご紹介します。

2023年度の募集は終了していますが、過去に採択された方のレポートをご覧いただければ今後の参考になるでしょう。

■帰国外国人留学生短期研究制度

日本で留学を終え、教育や学術研究、あるいは行政の分野で活躍している帰国留学生を対象とした制度です。日本への渡航費と滞在費を補助することで、改めて来日いただき、留学当時指導していた教員と共に日本の大学で短期研究を行います。

- 2022年度採択人数：25名
- 2023年度採用人数：24名程度（予定）

帰国外国人留学生短期研究制度採用者のレポートはこちら
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/tanken/report/index.html



編集部より

日本留学ネット・Japan Alumni Global Network ニュースレター
2023年2月号をお読みいただきありがとうございます。

JASSOでは、留学生や元留学生の皆さんに役立つ情報をお届けするFacebookの投稿の一環として年1回ニュースレターを発行しています。

今回のニュースレターでは、2022年の日本のニュース、日本での就職・キャリア情報、帰国留学生の皆さまの活躍や活動を紹介しましたが、いかがでしたでしょうか？日本での留学を思い出していただけましたか？

Facebookページ日本留学ネット・Japan Alumni Global Networkでは、日本に留学された元留学生の皆さん同士のネットワークの広がりや、日本との繋がりを長く保てるように、最新の日本の話題や元留学生の活躍、日本での就職に関する情報を投稿しています。読者からのコメントも表示されていますので、留学時代を思い出したり、在籍していた大学や旧友と再度交流するきっかけに役立てていただければ嬉しいです。Facebookの投稿についても、是非とも御覧ください！

公式Facebook
『日本留学ネット・Japan
Alumni Global Network』



発行者
独立行政法人日本学生支援機構
留学生事業部 国際奨学課
フォローアップ・キャリア支援係
E-mail: alumni-newsletter@jasso.go.jp